

自分表現講座「デザイン書道に挑戦！」秋の短期講座 ～自分ならではの書で、自分の思いを表現する楽しさを体得～

同じ「氷」の文字でも、夏のイメージと冬のイメージで、描き分けが可能です。

この講座では、美しい文字の書き方を追求するのではなく、自分の思いを「書」にぶつけ、自分なりの表現を楽しみます。この講座での「書」は、むしろアートです。文字を「書く」のではなく「描く」。個性が表現された書体は、美しい字体を超越した魅力的な文字となります。
書を楽しみましょう。

※筆や墨などの道具の貸し出し(有料)も行っています。※ご自分の書の道具をご持参いただいても構いません。

こんな方にお勧め

- 自分なりの素敵な文字の書き方を習得したい方
- 自分の作品のタイトルやお店の看板を自分の書で飾ってみたい方
- 「書」をアートとして楽しみたい方
- 「書」を通じて新たな仲間を作り、楽しい時間を過ごしたい方

講座概要

- ✓ 自分の名前をアートととして表現する技法を学びます。
- ✓ ○や△や□といった形から創造するアートとしての書の作り方を学びます。
- ✓ 自分なりの手書きの名刺を作成します。
- ✓ 自分の落款を制作します。

講師プロフィール

書浪人 善隆 *Shorounin Zenryu*

書アート作家。日本テレビで放送された「マネーの虎」の TV タイトルを揮毫し、本格デビュー。優れた感性の持ち主である宮本武蔵の素浪人にちなみ、名を書浪人と命名。

その作品は単なる書にとどまらず、アートとしての書の世界を確立。TV や書籍タイトル、店舗や会社のロゴデザイン・商品デザインやオリジナル書アートを次々発表。沖縄の竹と書をコラボさせた作品は東京国立新美術館を始め、他県の県立美術館にも展示。書のみならず、画の世界も広がり、善隆が描く「龍画」を始めとする書画はアジアのみならずヨーロッパ、アメリカなど各国に飛び続ける。イタリアではグッチ会長にも揮毫。2018年、日本のデザイン書道家に選出。

募集要項

- 講義回数 : 全10回(60分/回)
講義予定日 : 2023年11月15日/11月29日/12月13日/2024年1月17日/1月31日
講義時間 : 14:00~16:10【1日に2コマ(回)実施予定/間に10分の休憩あり】
受講費用 : 55,000円(税込/教材費含む)

※オプションとして、落款をつくる講座(有料)を12月13日・1月17日の10:30~12:30で行います。

振込先 : ゆうちょ銀行/〇一九支店/(普)292083

※受講生(申込者)のフルネームでお振込み下さい。お振込み手数料はご負担願います。

申し込み : 東京作家大学ホームページ「オンライン申込フォーム」よりお申込み頂けます。

※受講費用は上記振込先にお振込み下さい。

講座紹介（全10回）

【第1日】講義予定日：11月15日（水） 14：00～16：10

第1回…『Find out』～誰もがアーティスト～

個々が自分の感性に気付く書浪人善隆の書アートの世界の始まり。あなたがこの世に唯一無二の存在であることが、すでにひとつのオリジナル。そんなあなたの内面を額作品に仕上げるポイントを教授します。書道ではありません。

第2回…『Find out』の実践演習

講義にあわせた実践演習を行います。実際に、各自の内面を額作品に仕上げる作業を行います。

【第2日】講義予定日：11月29日（水） 14：00～16：10

第3回…名前をアートにする

書アートの世界に、下手はありません。赤で修正されるものではなく、それぞれが個性溢れるアートだからです。一番書き慣れている名前をアートにするポイントを伝授します。

第4回…『手描き名刺』の作成演習

自分の名前をアートにして表現する演習を行います。実際に自分の名前を自分で描いた「手描き名刺」を作成します。

【第3日】講義予定日：12月13日（水） 14：00～16：10

第5回…『アダン筆』を作ってみよう

書で表現するときの大事な道具の一つ、「筆」。オリジナルの筆からはオリジナルの線が産まれます。そこで、アダンという植物の実から自分だけの筆を作ってみましょう。

第6回…『アダン筆』で書いてみよう

自分で作った「アダン筆」を使って作品を仕上げる演習を行います。

【第4日】講義予定日：1月17日（水） 14：00～16：10

第7回…『シルエット書』とは

書浪人善隆が名付けたシルエット書。これは、○や△や□といった形から創造する書の形です。シルエット書の基本を教授するとともに、実例を参考に、イメージトレーニングを行います。

イメージネーションを広げて、文字をどう表現すると形になり作品となるのか取り組んでみていただきます。

第8回…『シルエット書』の実践演習

イメージネーションを広げて、文字をどう表現すると形になり作品となるのか、「シルエット書」に取り組んでみていただきます。

【第5日】講義予定日：1月31日（水） 14：00～16：10

第9回…タイトルや看板を描くにあたって

全コースの仕上げは、あなたの大切な作品のタイトルや屋号などをご自身で描くこと。タイトルや屋号は作品であるのはもちろん、あなたの顔の一部といっても過言ではないはず。そのポイントを伝授します。

第10回…あなたの本のタイトルやお店の看板を自分で描いてみよう

今回の講座の集大成ともいえるべき「書」を仕上げてみましょう。あなたが描いた物語があるならそのタイトルに、あなたがお店をしているならその看板に、働いているならその会社の看板に、ご自身の想いを込めて描いてみましょう。さあ、どんな風な文字に仕上げるとあなたが表現したかった作品が輝くのか、楽しんで描いてみましょう。

秋の短期講座

作家養成スクール
東京作家大学

「書で自分表現講座」～自分ならではの書で、思いを表現する楽しさを体得～

「書」をアートとして楽しみましょう。

この講座は、美しい文字「美文字」の書き方を追求するのではなく、あなただけの「魅文字」で自分の思いを表現し、自分を楽しむ講座です。テレビ番組や映画や書籍のタイトルの文字の描き方で、その作品のイメージが決まります。お店の看板の文字も同様、そのお店の顔となるもので、評判を呼ぶための重要なアイテです。小説やエッセイの中で作者が表現したいことは、その作品のタイトルに集約されています。あなたの思いを表現するためにも、作品のタイトルを自分の文字で飾ってみませんか。

「書道」ではなく「書楽」！ ～書を楽しみましょう～

文字を「書く」ではなく「描く」。書道ではありません。まちがいをしなければ、手直しもありません。「道」がつくとお手本があり、反復による練習が必要になってきます。でも、書浪人善隆の書アートには、お手本もありませんし、「道」のような修行をつむ必要もありません。描くことを楽しむものなのです。だから、あえていうなら「書楽」。

「リンゴの絵を描くときに、へたから描くのか、皿から描くのか」そのフォルムをどこから描くのか決まりはありません。描きたいところから描けばよいのです。書アートも同じ。書き順にこだわりません。書き方なんてありません。あなたの思いを書にぶつけ、好きに描けばよいのです。気持ちのままに楽しんで描けばよいのです。だから「書道」ではなく「書楽」です。人の心をなごませます。

【自分独自の落款を作ろう！】（オプション／有料）

作品を描いたとき、最後に落款の赤を挿すと作品の仕上がりワンランク上がります。

そこで、自分の名前を彫ってみましょう。誰にでも簡単にできる道具と手法でレッスンします。無言で無心に夢中になること間違いなしのレッスンです。

講師：書浪人善隆 Shorounin Zenryu プロフィール

書アート作家。日本テレビで放送された「マネーの虎」のTVタイトルを揮毫し、本格デビュー。優れた感性の持ち主である宮本武蔵の素浪人にちなみ、名を書浪人と命名。

その作品は単なる書にとどまらず、アートとしての書の世界を確立。TVや書籍タイトル、店舗や会社のロゴデザイン・商品デザインやオリジナル書アートを次々発表。沖縄の竹と書をコラボさせた作品は東京国立新美術館を始め、他県の県立美術館にも展示。書のみならず、画の世界も広がり、善隆が描く「龍画」を始めとする書画はアジアのみならずヨーロッパ、アメリカなど各国に飛び続ける。イタリアではグッチ会長にも揮毫。2018年、日本のデザイン書道家に選出。

市川森一・藤本義一 記念

東京作家大学

「書きたい人」を応援する 作家養成スクール

東京都渋谷区道玄坂2-16-8 ビジネスヴィップ渋谷・道玄坂坂本ビル4階
TEL 03 (5459) 2552 月～土 11時～19時 [日祝休]
MAIL info@tokyo-writer.jp 渋谷駅(ハチ公口)より徒歩約7分